

大山隠岐

国立公園 ◀大山・蒜山地域▶

●Daisen-Oki National Park



環境省 中国四国地方環境事務所

国立公園とは

日本を代表するすぐれた自然風景地について国が指定し、管理する公園を国立公園といいます。そこに生きる動植物をはじめ、質の高い自然を保護するとともに、国民がその自然から学び、自然と親しむためのものです。

現在、北は利尻礼文サロベツから南は西表石垣まで、全国に33の国立公園が指定されています。

大山隠岐国立公園の概要

●指 定 昭和11年2月1日(隠岐島地域編入昭和38年4月10日)
(島根半島地域編入昭和38年4月10日)
(三瓶山地域編入昭和38年4月10日)
(蒜山区域拡張昭和38年4月10日)
(毛無山区域拡張平成14年3月26日)
(三徳山区域拡張平成26年3月19日)

●面 積 陸域35,353㉫(大山・蒜山地域22,317㉫)
海域公園地区57,5㉫(大山・蒜山地域なし)

●都道府県 鳥取県・島根県・岡山県

●特 徴 中国地方の最高峰、大山をはじめ、蒜山、三瓶山などの火山群とその山麓の高原地帯、島根半島のリアス海岸、隠岐の火山群島などがあります。植物は、山岳部と海岸部の両方のものがみられ、貴重な動物の繁殖地にもなっています。

●本公園のテーマ 神話がつなぐ山と島ー神在ります山と連なる火山、太古の記憶が息づく島ー

●環境省中国四国地方環境事務所 (Tel) 086-223-1577 (代表) 700-0907 岡山市北区下石井 1-4-1 岡山第 2 合同庁舎 11F

●公園についての問い合わせ先 環境省米子自然環境事務所 (Tel) 0859-34-9331 7683-0067 鳥取県米子市東町 124-16 米子地方合同庁舎 4 階 大山情報館 (Tel) 0859-52-2165 7689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山 40-33

大山・蒜山地域

大山は中国地方の最高峰で、標高は1729m(剣ヶ峰)です。日本海から一気にそそり立ち、長い裾野をひいたその姿は、米子や松江方面から望むと富士山に良く似ていることから、伯耆富士あるいは出雲富士とも呼ばれています。このため、西日本を代表する山岳景観として、昭和11年に12,403㉫の区域が「大山国立公園」に指定されました。

一方、大山の南に続く岡山県側の蒜山地域は、上・中・下蒜山の、いわゆる蒜山三座と、その麓に広がる蒜山高原を含む一帯で、昭和38年に島根県の隠岐島、島根半島及び三瓶山とともに国立公園に編入され、名称も「大山隠岐国立公園」に改められました。さらに、平成14年には、貴重なブナ林の残る毛無山地区や、信仰の対象ともなってきた宝仏山地区も編入され、平成26年には三徳山一帯が拡張され、大山・蒜山地域の公園面積は22,317㉫となっています。

大山・蒜山は山岳・高原型の自然公園で、登山、ハイキング、キャンプ、スキーなどの野外レクリエーションのフィールドとして整備され、四季を通じて多くの人々が訪れています。

鳥取県では「住まうように旅する」をキーワードにエコツーリズムの推進を行っています。



母塚山より見た大山

自然

大山は、標高800mまではアカマツやコナラなどの二次林に被われています。その上部の標高800~1300mにかけて、元谷や大休峠、地獄谷、船上山~矢筈ヶ山などに広大なブナの自然林が残って、西日本で最大級の規模を誇っています。

これらのブナ林は野鳥の楽園でもあり、キビタキ、オオルリ、カッコウなどの夏鳥をはじめとして、130種もの野鳥が生息しています。また、昆虫も1,000種以上が確認されていて、安定した生態系を形成しています。

標高1300mから上部は、ダイセンキャラボクをまじえた風衝低木草本帯となり、厳しい気象の影響を受けて高山の様相を示しています。そこは、ツガザクラ、アカモノ、シコクフウロ、ナンゴククガイソウなどの貴重な高山植物が分布し、初夏には素晴らしいお花畑が見られます。

蒜山は上蒜山の一部にブナ林が残っているほかは、大部分が一度人手の入った二次林ですが、稜線の縦走路に沿ってイワカガミ、シコクフウロなどの高山植物が生育しています。また、麓の蒜山高原では、ススキ、マツムシソウ、リンドウ、ワレモコウなどの秋の草花が草原を彩ります。

毛無山はブナを主体とした豊かな自然林が残っており、猛禽類をはじめ多くの動物も生息しています。

三徳山は山麓部のウラジロガシ等の照葉樹林と標高400m前後から山上部の稜線にかけてブナに代表される冷温帯の落葉広葉樹林の自然林が連続して分布しています。

歴史

出雲国風土記によると、昔八束水臣津野命が隠岐島や能登半島の一部を引き寄せて島根半島を形づくりしました。その時、これを引っ張った綱が弓ヶ浜半島で、繋ぎ止めた杭が大神嶽だとされています。この大神嶽が今の大山で、古代の人々は大山を神の宿る神聖な山として崇めていました。

平安時代になると山岳仏教が盛んになり、大山寺が開創され、鎌倉時代にかけての大山は、3院と180坊、衆人3000人を擁する大勢力を持っていました。

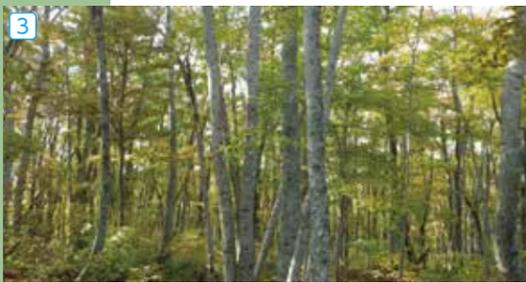
その後江戸時代になると、3000石の寺領となって保護され、民間信仰に加えて牛馬市が盛んになりました。現在でも、一町地蔵に見守られた住時の大山道が各地に残っています。

また、大山寺集落の一帯には、大山寺、大神山神社、阿弥陀堂などの神社仏閣や坊の跡など、たくさんの史跡や文化財があります。

三徳山は古くから大山、船上山とともに伯耆三嶺と称され、国宝投入堂をはじめとした施設があり、修験道の場として山岳信仰の対象になってきました。



三佛寺本堂



ブナ林



ナンゴククガイソウ



ダイセンキャラボク

地形・地質

今から約200万年前に蒜山が火山活動を開始し、この時現在の蒜山盆地はせき止められて湖となりました。また、約100万年前から、蒜山に続いて大山地域で激しい火山活動が始まり、大量の溶岩や火山砕屑物が噴出しました。船上山や甲ヶ山、矢筈ヶ山など北東に延びている山なみはこの時できたもので、古期大山と呼ばれています。

その後、中央部にカルデラが形成され、その中から多量の火山噴出物が流出して現在の広大な裾野ができました。

およそ2万年前に最後の火山活動が起こり、比較的ねばっこい石英安山岩の溶岩が盛り上がり、溶岩円頂丘をつくりました。これが現在のトロイデ型火山の大山(弥山、剣ヶ峰、三鉢峰など)で、新期大山と呼ばれています。

大山は日本海に向かって屏風のようにそびえ、季節風の影響をまともに受けています。そのため気象条件が悪く、絶えず浸食・崩壊が続き、上部は削りたった岩肌の荒々しい姿になっています。

なお、三徳山も安山岩類がトロイデ状の山を形成するという大山・蒜山と同様の地形的特徴を有しています。

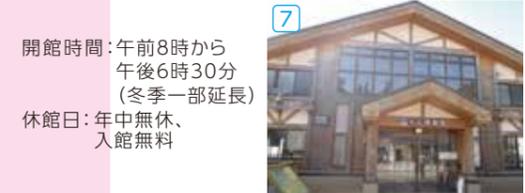


大山北壁(豪門山のろし台)

その他の施設

・大山情報館

休憩所や観光案内所、バス待合所があるほか、自然やアウトドアに関する幅広い情報を提供しています。



大山情報館

・大山自然歴史館

大山の生い立ちや周辺の動植物、自然に根付いた歴史・文化などが楽しみながら学べる施設です。



大山自然歴史館

・船上山休憩舎

平成25年5月より供用開始した休憩スペースと男女別のトイレを備えた施設です。



船上山休憩舎

おねがい

国立公園にはさまざまな動植物が生息・生育しています。大切な動植物を採ったり傷つけたりしないようお願いします。

自然公園法では、特別保護地区においては動植物(落葉落枝も)や石の採取など、また、特別地域においては環境大臣が指定する動植物の捕獲や採取、木の伐採などに環境大臣の許可が必要であると定めています(これに違反すると、6ヶ月以下の懲役または50万円以下の罰金に処せられます。)

平成25年6月1日には大山環境宣言が採択されました。大山環境会議では、大山を守り、育み、活かす活動に取り組んでいます。

大山環境宣言

- 1 大山の自然・歴史・文化を尊び、豊かな生態系を守ります。
- 1 大山の自然・歴史・文化を学び、豊かな心を育みます。
- 1 大山の自然・歴史・文化を理解し、私たちの暮らしに活かします。

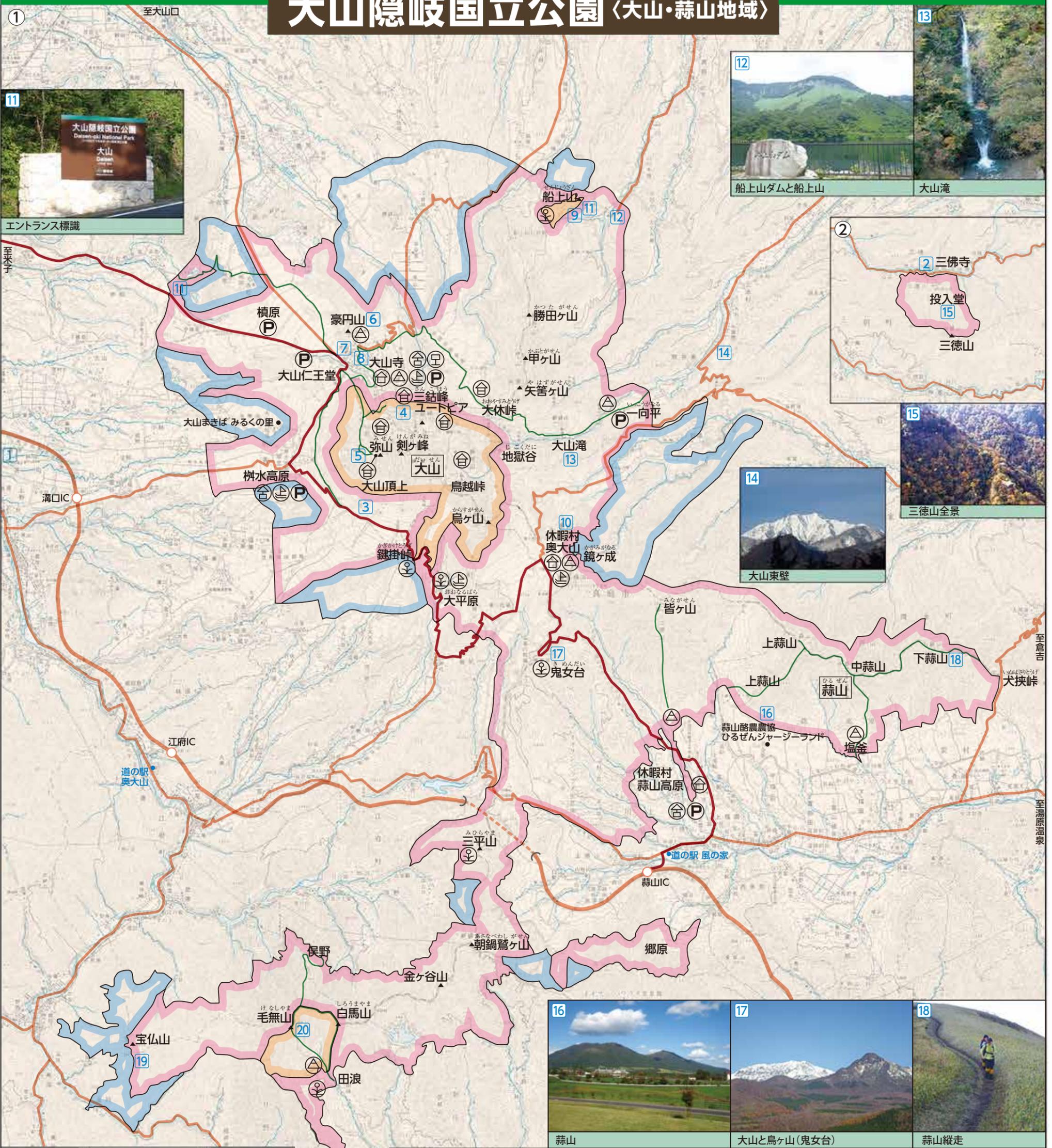


大山頂上保全作業(こも伏せ)

自然保護憲章碑(鏡ヶ成)

メモ

大山隠岐国立公園〈大山・蒜山地域〉



凡 例	
	特別保護地区
	特別地域
	普通地域
	大山パークウェイ
	車 道
	歩 道
	駐 車 場
	園 地
	宿 舎
	休 憩 所
	避 難 小 屋
	野 営 場
	ス キ ー 場
	博 物 展 示 施 設

特別保護地区	特に優れた自然景観又は原始状態を保存している地域。厳正に保護を図る。	特別地域の行為に加えて、植物(落葉落枝も含む)の採取、動物(卵も含む)の捕獲などに環境大臣の許可が必要。
特別地域	自然景観が比較的優れる、又は特色ある人文景観を有する公園利用上重要な地域。開発と自然保護の調和が重視される。	普通地域の行為に加えて、木竹の伐採、指定植物の採集などに環境大臣の許可が必要。
普通地域	特別保護地区、特別地域、海域公園地区以外の地域。	工作物の設置、土石の採取、広告物の掲出などに環境大臣への届出が必要。

